

アジア海上保安初級幹部研修 カリキュラム体系

A 海上保安に関する基礎的な知識の体系的習得

A-1 学術系基礎科目群	
海上保安の基礎を教授するに当たり、個々の基礎知識が有機的に作用し合った状況であることを常に認識させつつ、海上保安業務を遂行するために必要な学術的基礎科目を教授する。	<<海事・安全分野>> ・海上交通・船舶等設備概論 <<海上警察分野>> ・海上保安制度
A-2 実務系基礎科目群	
海上保安業務の全体像を把握するとともに、それぞれの業務に関する基本的な知識を、体系的に習得する特に、現場業務との連携を考慮し、できるだけ“生きた”知識を習得できるようにする。	・海上保安実務概論
A-3 グループ演習	
学術系基礎科目群及び実務系基礎科目群で習得した知識を踏まえ、グループディスカッションを通じ、自国の海上保安制度等に関する課題を明らかにする。	・グループ演習
A-4 施設等見学	
わが国の海上保安施設を見学することによって、海上保安に関する諸知識を学ぶことの動機付けとする。	・施設等見学

B 海上保安に関する実践的な知識・理論の習得

B-1 学術系実践科目群	
海上保安業務を実施する上で必要な専門的かつ最新の知識を習得し、次代の幹部候補としてふさわしい素養を身に付ける。	<<海事・安全分野>> ・海上交通・安全運航システム ・海上安全管理システム ・海洋環境・防災論 ・有害危険物質管理 <<海上警察分野>> ・国際海上保安制度 ・海上保安関係条約 ・国際刑事法 ・国際海洋法 ・国際海洋政策
B-2 実務系実践科目群	
我が国の海上保安業務の第一線(管区)から政策立案(本庁)に至るまでの実務について、業務現場での実習及び現役講師による講義等によって理解することを通じて、個々の研修員がそれぞれの国において海上保安業務を実践する上で考慮すべきポイントや解決すべき課題を認識できるようにする。	・海上保安実務実習
B-3 システム演習	
基礎科目群及び実践科目群で修得した知識と現場実務の有機的結合を図るため、海上保安の諸現象を様々な角度から調査分析する	・システム演習
B-4 現地調査・体験乗船	
我が国の海上保安施設及び関連施設を調査・体験することによって、それまで学んだ海上保安に関する諸知識の定着を図る。また他の研究施設や他大学等の交流を図ることによって、研修員の幅広い視野を涵養するとともに、わが国との間に幅広いネットワークを構築する。	・現地調査 ・大型巡視船体験乗船

C 海上保安に関する高度な知識の習得と課題解決力の育成

C-1 専門応用科目群(特別講義)	
海上保安にかかわる様々なトピックスに関する特別講義を実施し、海上保安に関連する高度な専門知識あるいは応用的知識を習得し、次代の幹部候補としてふさわしい知見の獲得・深化を目指す。	・国際海洋政策特論 ・国際犯罪・国際政治特論 ・国際刑事法特論
C-2 事例研究	
個々の設定したテーマについて研究を行い、これまで学んだ知識を総合化するとともに、幹部候補職員として必要な課題解決力を育成する。	・事例研究